

令和5年度三郷市上水道事業特別会計予算の概要

1. 業務量

給水戸数は73,280戸で、前年度と比べ130戸(0.2%)の増、有収水量は15,200,000^mで、前年度と比べ59,000^m (0.4%)の増を見込みました。

2. 収益的収支の状況（税込）

収入の大部分を占める給水収益を前年度に比べ283千円(▲0.01%)の減、消費税等還付金を7,252千円(43.2%)の増とし、収入全体では9,262千円(0.4%)の増を見込みました。

支出では受水費や動力費、委託料といった営業費用を前年度に比べ126,761千円(5.1%)の増、利息の支払いといった営業外費用を163千円(0.3%)の増とし、支出全体では126,924千円(5.0%)の増を見込みました。

収益的収支の差引額は▲88,704千円で、前年度に比べ117,662千円(▲406.3%)の減となり、消費税等の影響額を差し引いた結果、純損失を168,519千円と見込みました。

3. 重点施策

①災害に強い施設整備の推進

・配水管整備事業（予算額 960,450千円）

石綿セメント管や早稲田地区の配水管などの老朽管の布設替えを進め、管路の耐震化を推進していきます。

・県水直送管整備事業（予算額 113,000千円）

令和3年度より着手している、県の浄水場から購入した水を送るための送水管と、市の配水管とをつなぐ直送管の整備事業を継続して実施します（4か年事業）。